

会長レポート

めでたく当会も初の AGM を迎えることが出来ました。2018 年 8 月にクィーンズランド州議会議事館において多くの議員の皆様や各コミュニティーの代表 150 名以上の方にお越しいただき、発足会を開催することが出来ました。

当会はクィーンズランド唯一の日本人をサポートする団体として機能していこうと考えております。

ECCQ(Ethnic Community Council Qld)、MCCGC(Multicultural Community Council of Gold Coast)、MFO(Multicultural Families Organisation) などと緊密に協力し合い、より多くのサポートを提供していきます。また、QLD 州政府の Dept. Multicultural Affairs QLD, Dept. Community, Dept Qld Health and Qld Police Service などの政府組織と密接に協力し合い、より多くの日本人が快適に生活が出来るために活動をしていきます。また総領事館とも鋭意情報交換をして、新しい情報の提供に尽力いたします。

会として、Ship for World Youth Program としてブリスベンに寄港した日本丸でのレセプションや平成最後の天皇誕生日ファンクション、日本関連の為の正月ファンクションなどにも日本関連団体として参加してまいりました。

サポートとしては、現地の非営利団体と協力して日本人 DV 被害者の救済に関する情報提供会を開催し、既に何人もの日本人被害者の救済に動いております。

また、今年に入って Diversecare という老人介護の団体と共同で、Speak my language というプロジェクトに参加し、オーストラリアで唯一、日本人のご年配の皆様ラジオなどを通じ日本語で情報を提供することになりました。

会員の皆様に対しては、Facebook にて全国都道府県 47 の県人会ページを立ち上げました。QLD に住む県人同士が互いに交流できる場として活用していただければと思います。そこから将来、QLD と各県が経済的にも文化的にも密接に繋がっていければ、良いのではないかと愚考します。また同好会として阿波踊りの会やブリスベン・アイドル・プロジェクトなどの活動のサポートも行っております。

クィーンズランドは特に親日家が多く、大学のスピーチコンテストでも日本語の部門が一番多くの人数を抱えています。我々は主催者である MLTAQ(Modern Language Teacher's Association QLD) に協力して、益々の盛り上げのサポートを行うために、最近始まったボトルのリサイクル・プロジェクトを行っています。

初年度は、まず足元を固め各団体の相互情報交換を含め当会の目指すべき方向性を検討してまいりました。皆様の積極的な参加によって会が益々有意義になりますことを願っています。今回、会の規約を若干変更を検討していただき、オーストラリアでチャリティーが出来るように、チャリティー団体登録を目指します。ゆっくりではありますが、確実な一歩を踏み出したと考えます。まだまだ、これからではありますが、一歩ずつ確実に目標に向かって活動していきたいと考えます。

メンバーの皆様、各法人企業の皆様、ご協力に感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。